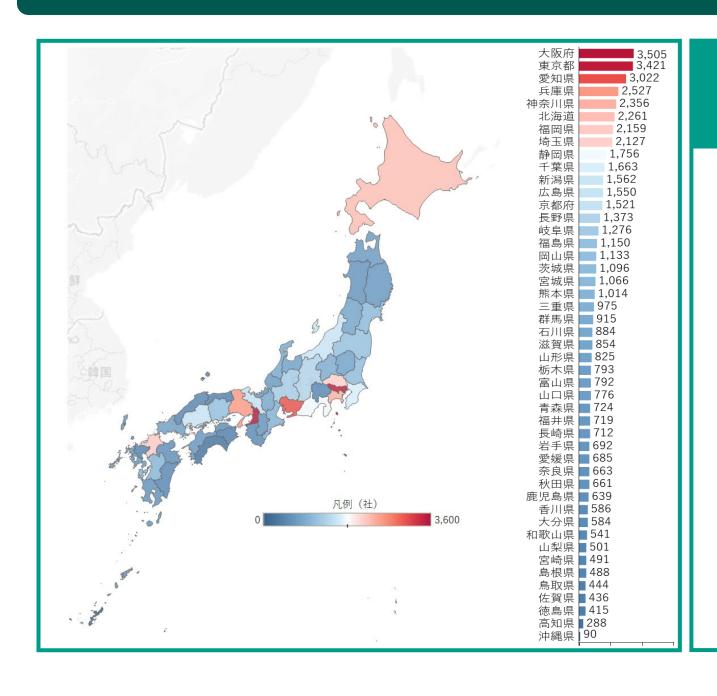
先進的窓リノベ事業の振り返り

※本資料は、令和6年2月29日時点の情報を基に作成しています。

先進的窓リノベ2024運営支援室

(株式会社 ベーシックユニット)

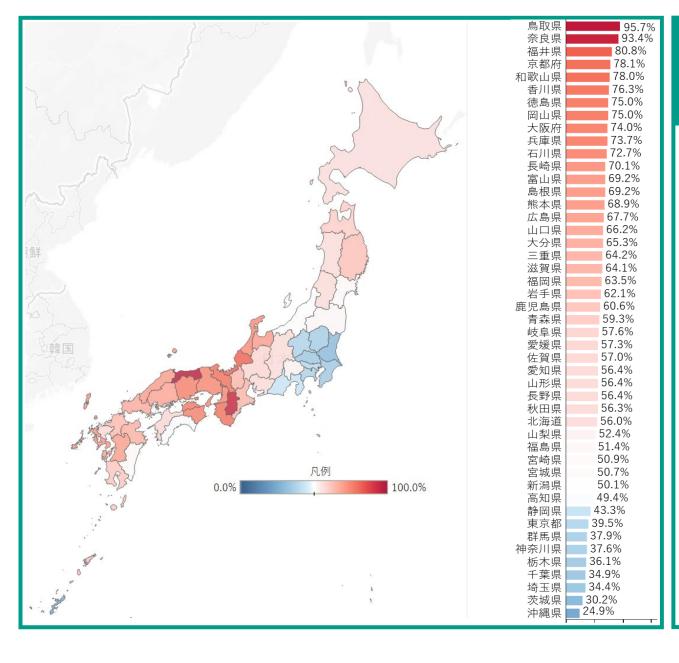
登録事業者数の全国分布



先進的窓リノベ事業 登録事業者 54,706社

- 都道府県別のベスト3
 - 1位 大阪府(3,505社)
 - 2位 東京都(3,421社)
 - 3位 **愛知県(3,022社)**
 - 4位 兵庫県(2,527社)
 - 5位 神奈川県 (2,356社)
- ■大都市圏で、登録事業者数が 多い傾向

リフォーム事業者の登録率*の全国分布



近畿・北陸・中国地域の 登録率が高い

■都道府県別のベスト5

1位 鳥取県 (95.7%)

2 位 **奈良県**(93.4%)

3位 福井県(80.8%)

4位 **京都府** (78.1%)

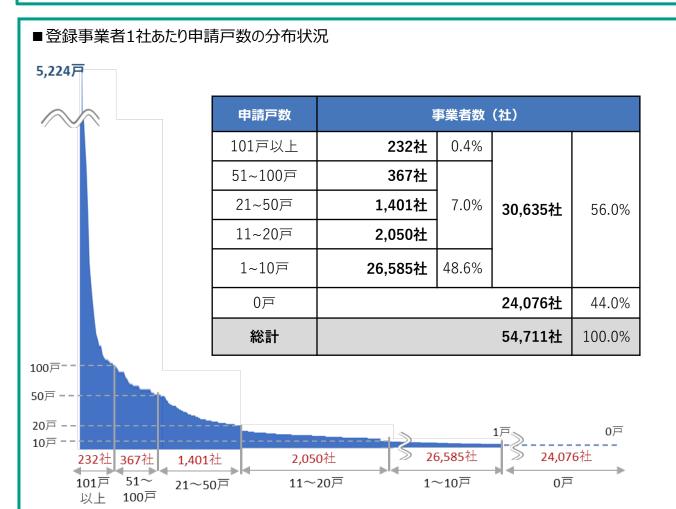
5位 和歌山県(78.0%)

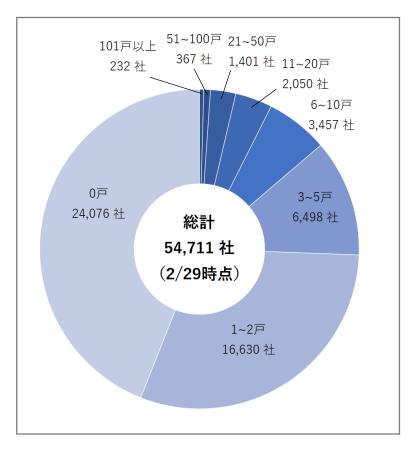
* リフォーム事業者の登録率

経済センサス-基礎調査「事業所に関する集計」における「065 木造建築工事業」「066 建築フォーム工事業」「079 その他の職別工事業」の事業所数の合算値を母数として住宅省エネ2023キャンペーン登録事業者数に応じて都道府県ごとに算出。

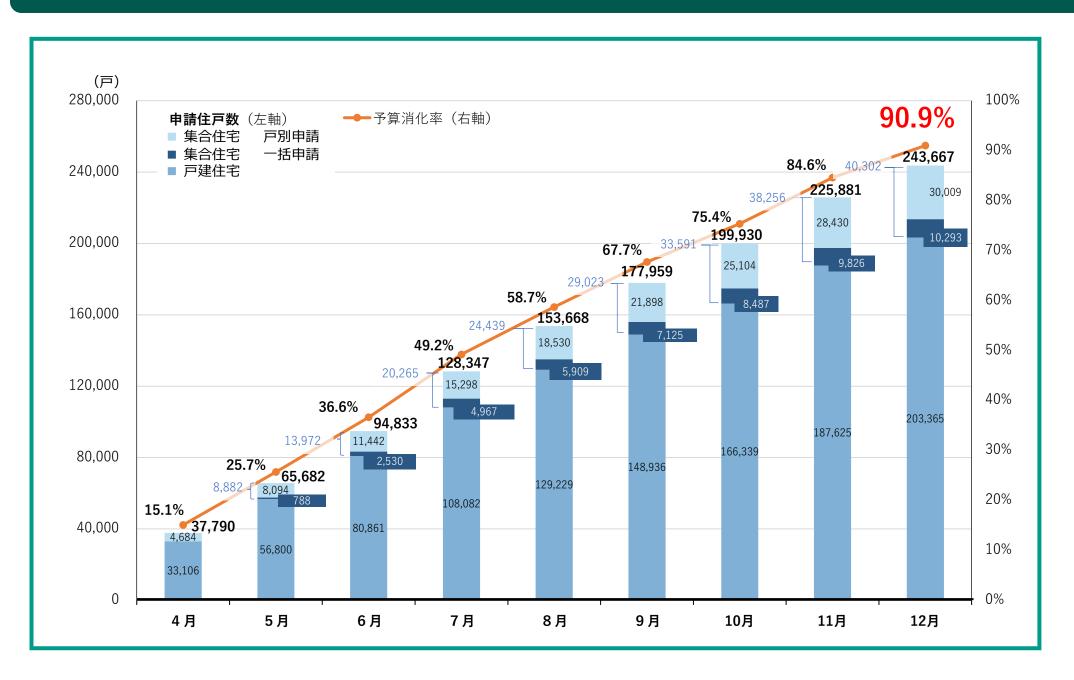
登録事業者の窓リノベ事業活用状況

- ・先進的窓リノベ事業を活用した登録事業者は30,635社で登録事業者の56%
- 未活用の登録事業者は 24,076社で全体の44%

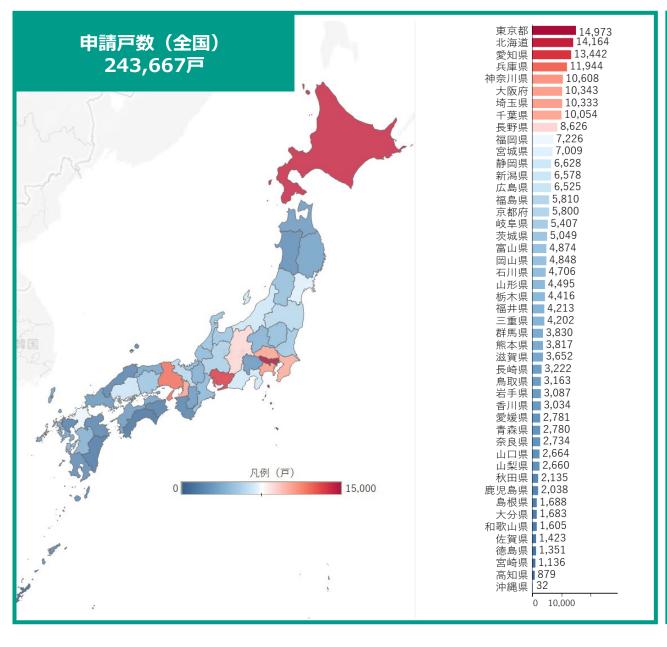


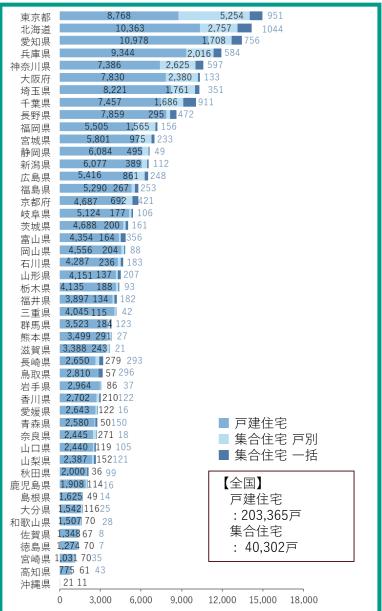


先進的窓リノベ事業 申請住戸数の月次推移

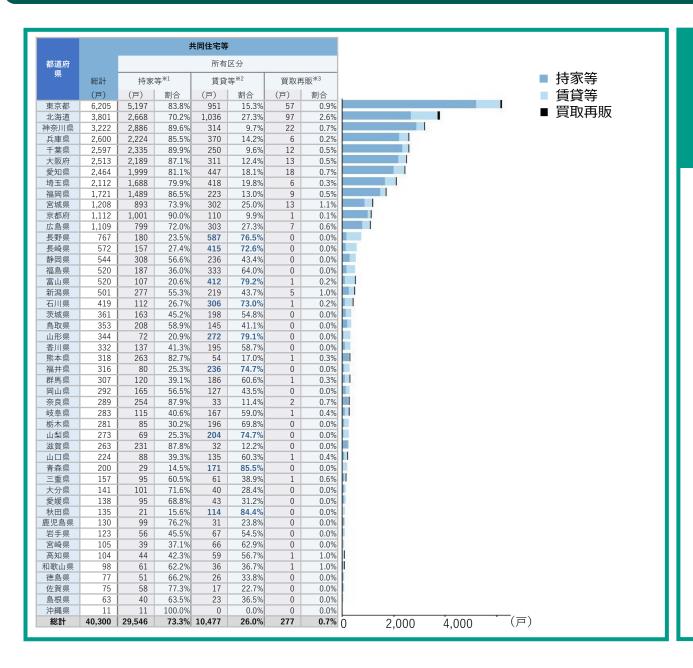


都道府県別 申請住戸数





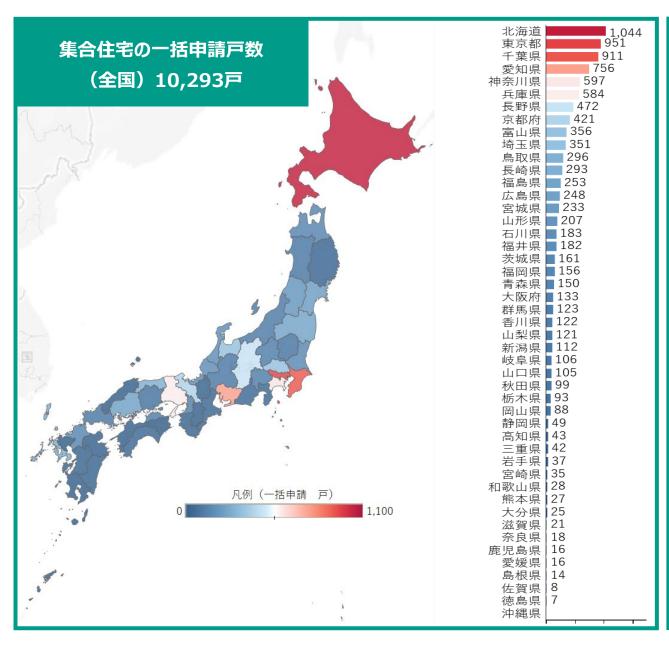
都道府県別 申請住戸数(集合住宅・種別内訳)



先進的窓リノベ事業における 集合住宅の申請住戸数 40,300戸

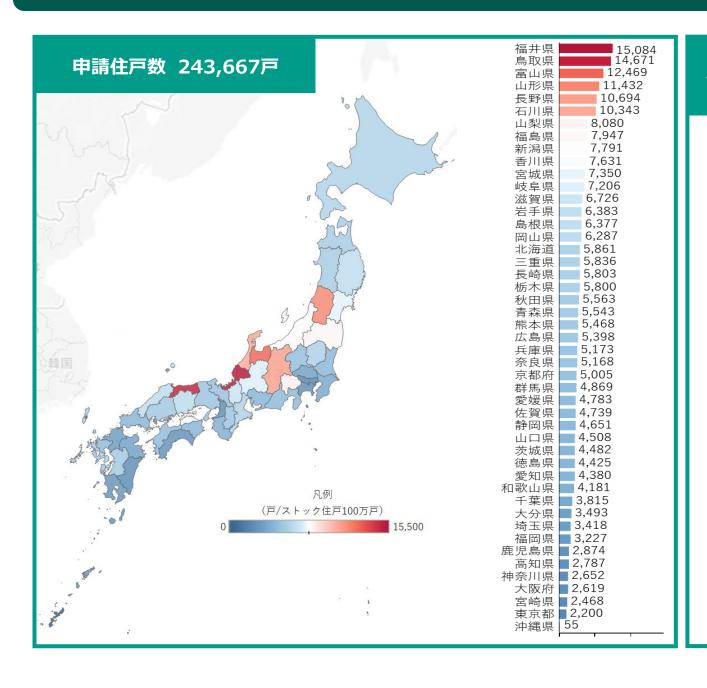
- 全国的にみると、持家等(分譲マンション等)が7割を超えるが、
 長野県、長崎県、富山県、石川県、山形県、福井県、栃木県、山梨県、青森県、秋田県では逆に
 賃貸等の割合が7割を超える。
- 北海道では買取再販の割合が 比較的高い状況。

都道府県別 申請住戸数 (集合住宅の一括申請)



	戸建住宅	共同住宅等				
都道府県			内、一括			
	(戸)	(戸)	(戸)	(申請件数)		
北海道	10,363	3,801	1,044	[129]		
青森県	2,580	200	150	[26]		
岩手県	2,964	123	37	[9]		
宮城県	5,801	1,208	233	[44]		
秋田県	2,000	135	99	[15]		
山形県	4,151	344	207	[34]		
福島県	5,290	520	253	[55]		
茨城県	4,688	361	161	[31]		
栃木県	4,135	281	93	[18]		
群馬県	3,523	307	123	[19]		
埼玉県	8,221	2,112	351	[55]		
千葉県	7,457	2,597	911	[34]		
東京都	8,768	6,205	951	[123]		
神奈川県	7,386	3,222	597	[53]		
新潟県	6,077	501	112	[24]		
富山県	4,354	520	356	[53]		
石川県	4,287	419	183	[35]		
福井県	3,897	316	182	[20]		
山梨県	2,387	273	121	[16]		
長野県	7,859	767	472	[78]		
岐阜県	5,124	283	106	[14]		
静岡県	6,084	544	49	[12]		
愛知県	10,978	2,464	756	[61]		
三重県	4,045	157	42	[6]		
滋賀県	3,388	264	21	[5]		
京都府	4,687	1,113	421	[13]		
大阪府	7,830	2,513	133	[27]		
兵庫県	9,344	2,600	584	[50]		
奈良県	2,445	289	18	[5]		
和歌山県	1,507	98	28	[2]		
鳥取県	2,810	353	296	[24]		
島根県	1,625	63	14	[4]		
岡山県	4,556	292	88	[16]		
広島県	5,416	1,109	248	[38]		
山口県	2,440	224	105	[23]		
徳島県	1,274	77	7	[2]		
香川県	2,702	332	122	[22]		
愛媛県	2,643	138	16	[6]		
高知県	775	104	43	[10]		
福岡県	5,505	1,721	156	[23]		
佐賀県	1,348	75	8	[2]		
長崎県	2,650	572	293	[37]		
熊本県	3,499	318	27	[6]		
大分県	1,542	141	25	[2]		
宮崎県	1,031	105	35	[7]		
鹿児島県	1,908	130	16	[6]		
沖縄県	21	11	0	[0]		
総計	203,365	40,302	10,293	[1,294]		

都道府県別 申請住戸数 (既存住戸100万戸あたり)



■都道府県別のベスト5

1位 福井県(15,084戸) 2位 鳥取県(14,671戸) 3位 富山県(12,469戸) 4位 山形県(11,432戸) 5位 長野県(10,694戸)

集合住宅における窓リノベ事業の活用状況(内訳)

集合住宅約4万戸に導入された補助対象窓約14万枚のうち、 内窓設置が約9割を占める結果となった(特にSランクが多く、全体の78%を占める)

住宅	工事内容		性能	サイズ			性能別	割合	
種別			工化	L	M	S	X	小計	큐) 디
			P (SS)	0	0	0	0	0	
			S	351	306	371	0	1,028	
	ガラス交換		Α	68	141	243	0	452	
			В	0	0	0	0	0	
			小計	419	447	614	0	1,480	1.03%
			P (SS)	432	254	326	0	1.012	
	 内窓設置		S	44,944	32,505	34,671	242	112,362	
		置	Α	5,382	3,897	5,711	78	15,068	
			В	0	0	0	0	0	
共			小計	50,758	36,656	40,708	320	128,442	89.21%
			P (SS)	5	21	13	0	39	
任	共 同 住 宅 等	カ バ ー ^人	S	24	55	75	16	170	
上 一 等			Α	240	271	311	9	831	
/1			В	5,074	3,024	1,406	16	9,520	
	外窓交		小計	5,343	3,371	1,805	41	10,560	7.34%
	協	P (SS)	61	97	200	7	365		
	J X	は	S	204	495	631	10	1,340	
		つ	Α	371	408	960	34	1,773	
		i)	В	0	0	0	0	0	
			小計	636	1,000	1,791	51	3,478	2.42%
			中計	5,979	4,371	3,596	92	14,038	9.76%
	共同住宅等 合計			57,156	41,474	44,918	412	143,960	100.00%

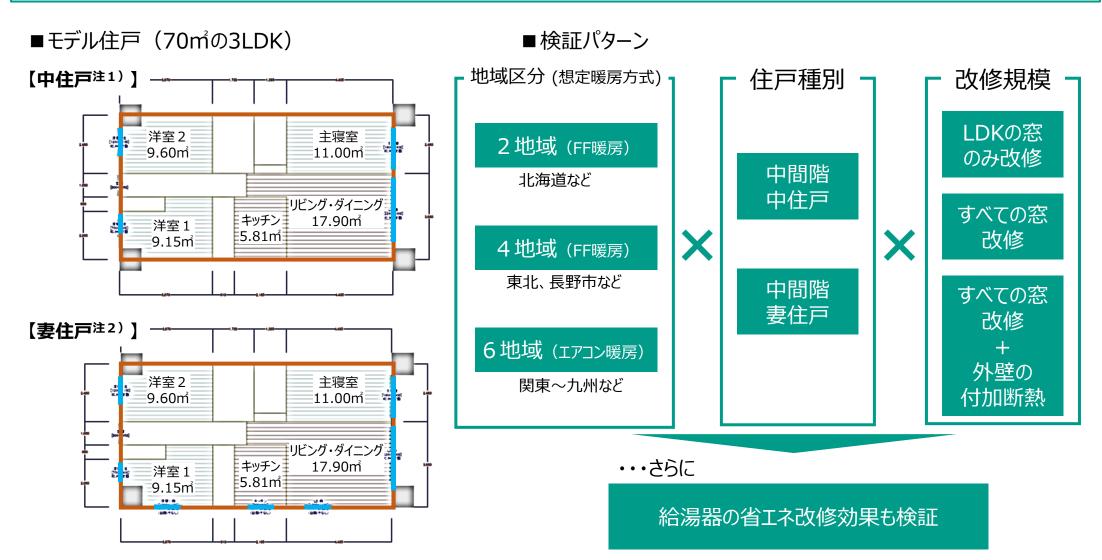
先進的窓リノベ2024事業 活用シミュレーション 集合住宅における光熱費削減効果について

先進的窓リノベ2024運営支援室

(株式会社 野村総合研究所)

モデル住戸と検証プロセス

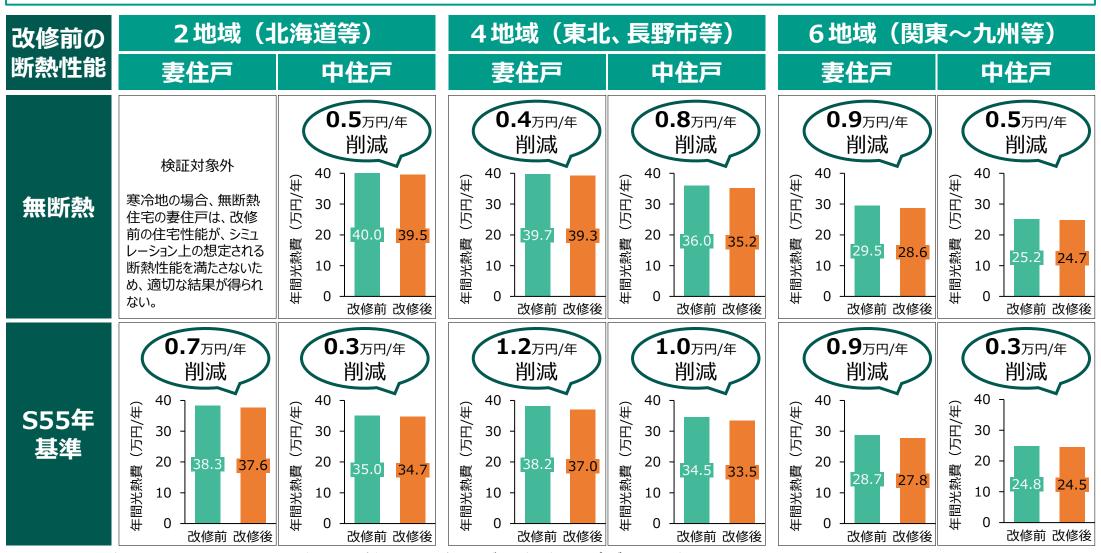
■ 先進的窓リノベ2024事業を活用して断熱改修を実施した際の光熱費削減効果を検証



- 注1)集合住宅において、両隣を他住戸で挟まれた位置する住戸を指す。
- 注2)集合住宅において、住棟の両端に位置する住戸を指す。角住戸ともいう。

集合住宅における光熱費改善効果(LDKの窓の改修)

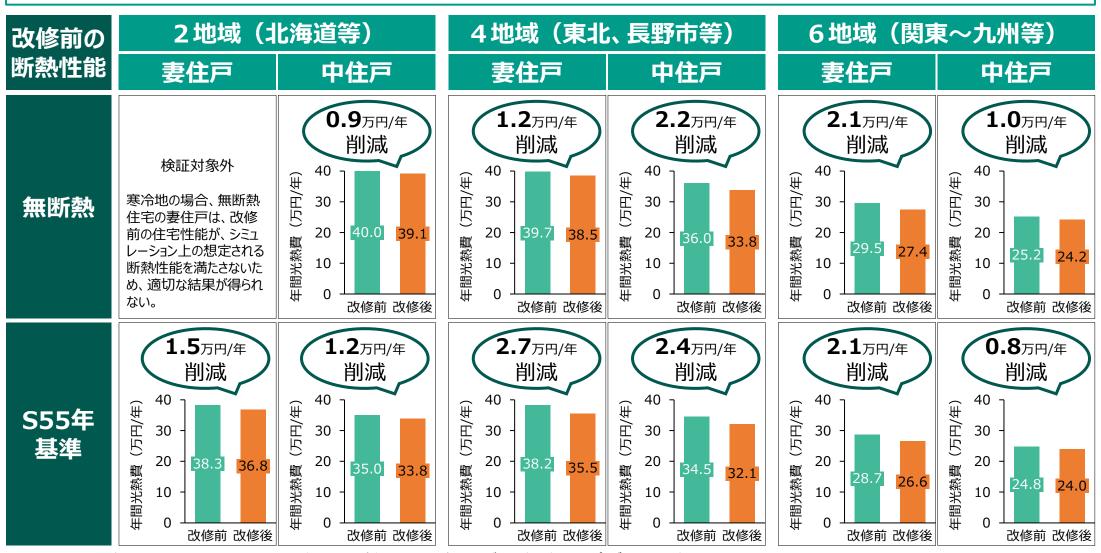
■ LDKの窓(妻住戸は3窓、中住戸は1窓)をグレードSに改修すると、年間3千~1.2万円程度の光熱費の削減が見込まれます※。



[※] 延床面積等の条件を仮定した上でのシミュレーション結果の例(住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラムを使用) 光熱費は2地域:北海道(北海道電力・北海道ガス)、4地域:長野県(中部電力・長野都市ガス)、6地域:東京都(東京電力・東京ガス)の 2023年3月時点の料金表を用いて試算しているため、契約内容や料金の変更等により光熱費削減額が変動します。

集合住宅における光熱費改善効果(全ての窓の改修)

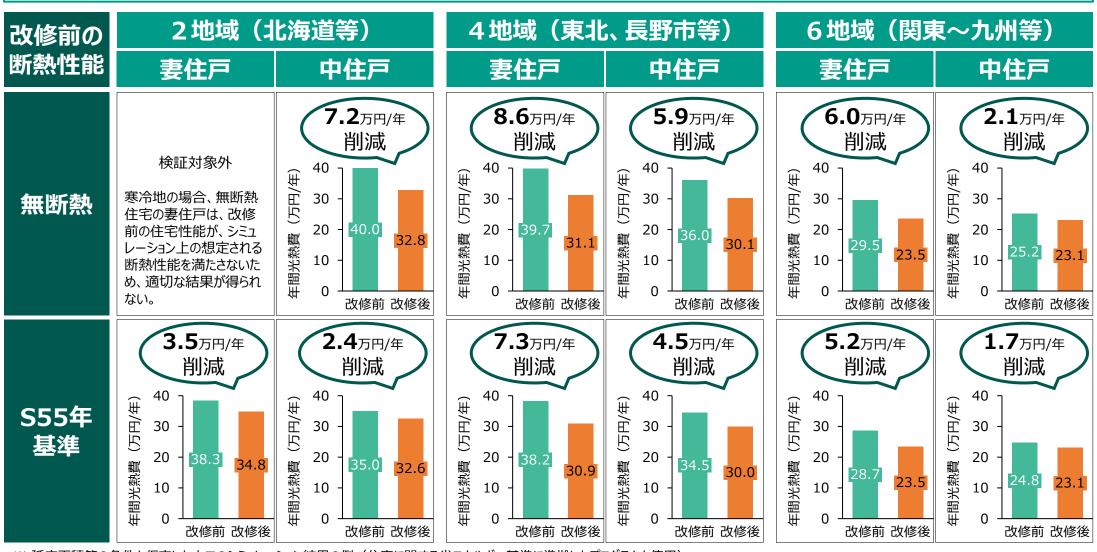
■ 全ての窓(妻住戸は7窓、中住戸は4窓)をグレードSに改修すると、 年間8千~2.7万円程度の光熱費の削減が見込まれます。



[※] 延床面積等の条件を仮定した上でのシミュレーション結果の例(住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラムを使用) 光熱費は2地域:北海道(北海道電力・北海道ガス)、4地域:長野県(中部電力・長野都市ガス)、6地域:東京都(東京電力・東京ガス)の 2023年3月時点の料金表を用いて試算しているため、契約内容や料金の変更等により光熱費削減額が変動します。

集合住宅における光熱費改善効果(全ての窓+外壁の改修)

■ 全ての窓(妻住戸は7窓、中住戸は4窓)に加え、外壁の断熱改修を行った場合 年間1.7~8.6万円程度の光熱費の削減が見込まれます。



[※] 延床面積等の条件を仮定した上でのシミュレーション結果の例(住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラムを使用) 光熱費は2地域:北海道(北海道電力・北海道ガス)、4地域:長野県(中部電力・長野都市ガス)、6地域:東京都(東京電力・東京ガス)の 2023年3月時点の料金表を用いて試算しているため、契約内容や料金の変更等により光熱費削減額が変動します。

集合住宅における光熱費改善効果(給湯器の交換)

■ 断熱改修の他、給湯器の更新でも光熱費を削減することができます。 例えば、従来型の給湯器を高効率給湯器(エコジョーズ)に交換した場合、 **年間1.5~2万円程度**の光熱費の削減が見込まれます。

従来型給湯器とエコジョーズの年間ガス使用量の比較

